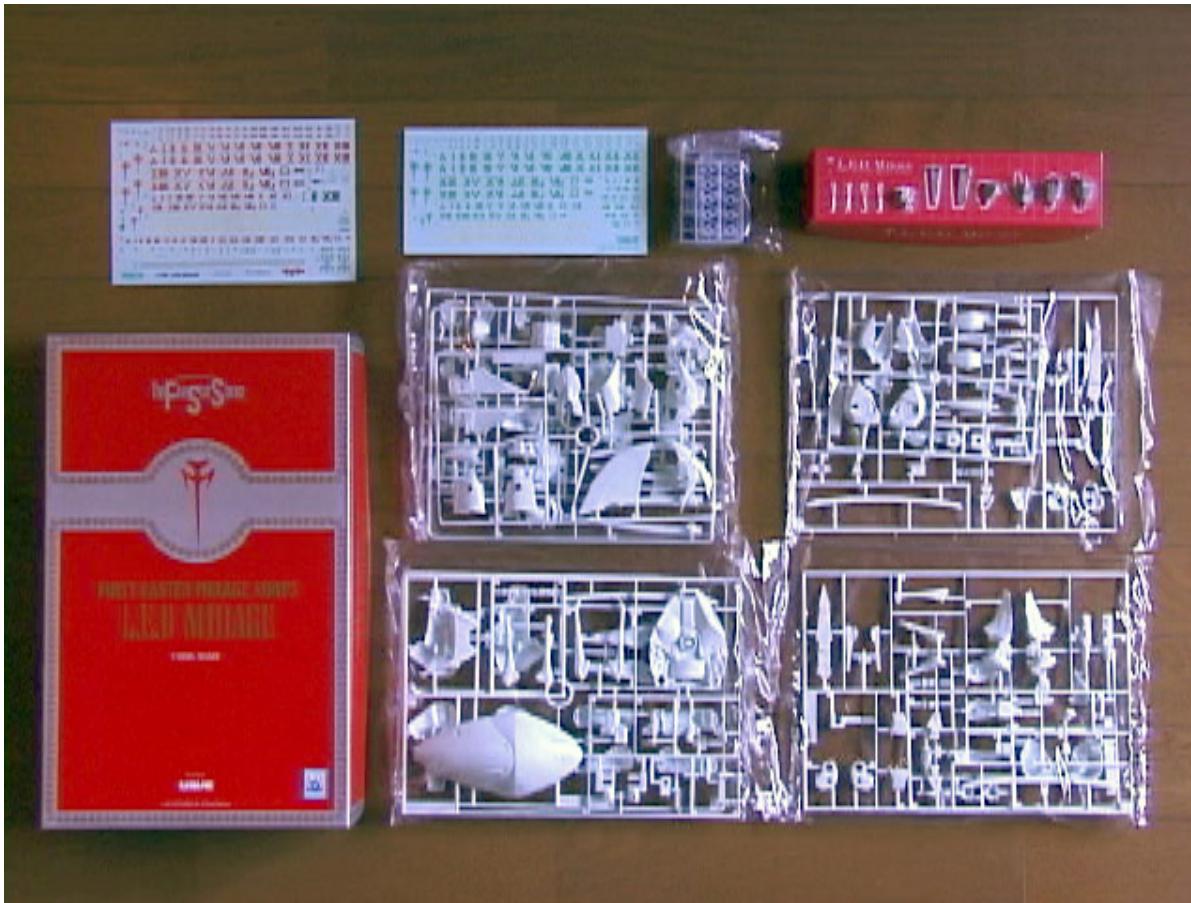


## 第40回 1/100レッドミラージュ(WAVE)の巻



今回は40回記念ということで、「最強の幻像」とレッドミラージュ(以下LEDと略記)を取り上げます。「見た時は死ぬ時」だの「手掛けた時は留年する時」だの物騒なこと極まりないロボット...というのは以前にも述べたような気がしますが、このWAVEのインジェクションキットはわがハリボテ人生において忘れ得ぬ存在なのです。

ハリボテのLEDについて書き始めると同人誌1冊位書くことにもなりかねないので、極々簡単な記述に止めることにします。当時、私の在学していた金沢大学は城内キャンパスから郊外への移転が進行中であり、移転を機に大学祭が縮小されるのでは、と危惧されていました(実際には現在でも大学祭は盛況に実施されている)。そこで、総力を結集して最後を飾るにふさわしい最高のハリボテを作ろうという気運が高まりました。そのアイテムとして選ばれたのがLEDだったのです。5月下旬の或る日、立体資料として活用する為にこのインジェクションキットを購入して友人Eと二人で組み立てを行いました。離型剤が多めに付着していたこともあって(固体差か?後のWAVEのキットではほとんど気にならない)結構難儀し、組立完了後に思わずビールで乾杯したことが懐かしく思い出されます。組み立てたLEDは骨格図面作成の為一旦友人Eが持ち帰り、後日バラバラにして各部分担当者に渡されました(ちなみに私は頭部担当なので頭部を受領)。こんな風に各方面に分配されてしまったので、このLEDが立つことは二度とありませんでした。

キットについて簡単に説明しておくと、当時最新の設定資料である「Joker3100」に準拠した形状を再現しており、主要な関節がポリキャップ内蔵で可動します。精緻なディティールが要求されたであろうフェイス・手首・レーザーリフレクターはホワイトメタル製です(当時の金型技術を窺い知ることが出来るかも知れない)。武器は光剣ではなく実剣が付属していました。当時、12800円は決して安くはありませんでしたが、それだけの対価を払っても良いと思わせるキットだったと思います。



それでは例によって歴代キットの比較と参りましょう(左はクリッカブルマップとなっています)。

(1)ブーメランユニット装備型(16800円) レッドミラージュ本体にフレームユニットとブーメランユニット、金属製スタンド等が付属したもの。追加パーツの多くはソフトビニール製で、チェーンカーテン用の極細鎖もセットされている。

(2)10周年記念版(3500円) 減価償却がなされた為か、常識的な値段で再販。箱絵が高荷画伯のイラストになり、初版でホワイトメタル製であったフェイス・手首・レーザーリフレクターは新規金型によるプラ製となりました。尚、本キットにカルトグラフ製デカールが付属した特別版(3800円)も存在しました。

(3)ブーメランユニット(3800円) (2)または特別版と組み合わせる為の単品販売。フレームユニットとブーメランユニットのセットで、これとは別にフレームユニットのみの別売(1500円)もありました。(1)でソフビ製であったパーツの約半数がプラ製となっているのは嬉しいのですが、チェーンカーテンの部分が簡略化(泣)されてのれん状のプラパーツに変更されています。

(4)透明装甲版(4200円) 1/144キットと同様の乳白色樹脂を用いて本編新規設定に基づく半透明装甲を再現したもの(発売にあたって金型の研磨が行われたらしい)。パーツの変更はないもののデカールは新規のものが追加され、ポリパーツは全て半透明になりました。

なお、一番下の写真は完成したハリボテのLEDです。モデルグラフィックス誌に持ち込み投稿を敢行し、見開きで掲載されました(通巻101号)。その時編集部より頂いた「青春の無駄遣い」というコメントに当時は苦笑したものでしたが、あれは誉め言葉だったのかなあと今にして思います。